

## 卒業式 式辞

本格的な春の訪れが、そこかしこで感じられる季節となつてまいりました。本日、ここに令和七年度卒業式を挙行できますことは、この上ない喜びであります。

本学での学びを終え、本日ここに、晴れて卒業を迎えられた皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

全教職員を代表して、お祝い申し上げます。

また、本日ご臨席を賜りましたご家族の皆さま、お子様のご卒業、まことにおめでとうございます。

お子様のご卒業を共に祝えることに感謝申し上げます。

ただいま、大学院七名、大学三二四名、短期大学部一三二名、計四六三名の修了者・卒業生に「卒業証書・学位記」を授与いたしました。この「卒業証書・学位記」は、皆さんがそれぞれの研究科・学部・学科で勉学に励み、本学での学びを終えられた証です。

そして本日は、多くの人に支えられ、見守られて、学生生活を送り、これから、社会人としての歩みが始まるという門出の日でもあります。

さて、皆さんはこの兵庫大学・兵庫大学短期大学部で何を学んでこられたのでしょうか。将来の夢に向かって、自身の興味・関心に沿った専門分野の知識や技術、それを実践するための行動力など、学問としてだけでなく専門職業人として活躍するために必要な力身につけてこられたことと思います。

さらには、学びの中で、課題意識を持ち、自分なりの考えや感性を磨いてきたこと、夢の実現に向けて自分の可能性を最大限に信じ、ひたむきに取り組んできたこと、励まし合いながら切磋琢磨し共に成長する仲間との出会いなど、かけがえのない経験を、積み重ねてこられました。

皆さんが過ごしてきた学生生活の間にも、社会は日々、変化を遂げてきました。その中で皆さんは、これからの時代を生きていくために、何を学び、何を大切にすべきかを、考えてこられたことと思います。

変化の激しい時代だからこそ、学び続け、自らを更新し続ける姿勢がこれまで以上に求められています。未知の状況に直面したときには、皆さんが培ってきた知識や経験を活かし、最善の選択をしていかなければなりません。

ここで大切なことは、社会の変化に適応しながらも、自分らしさを忘れず、人とつながり、支え合いながら歩いていくことです。AIや技術革新が進む時代だからこそ、人としての温かさや共感する心がますます大切になってくるのではないのでしょうか。そうした「人間力」に加えて、学んだ知識や技能を更新し続ける「応用力」をもつ専門職業人の養成こそが、本学のめざしてきた教育です。

本学で培った「人間力」と「応用力」を、さらに磨き、どうか皆さんには、「ありがとうのプロフェッショナル」を目指してほしいと考えています。感謝の念を抱き仕事をさせていただくことで、やがて皆さん自身が「ありがとう」という感謝の言葉をいただくことができる専門家となるのです。卒業生の皆さん全てが「ありがとう」にあふれる人生を歩まれること、それこそが、私たち教職員の願いです。

これから皆さんが歩む長い人生は、無限の可能性を秘めています。しかし、その道の途中で、思いがけない壁にぶつかることも、きっとあるでしょう。そのような時には、本学での学びや経験を胸に、立ち止まりながらも、一步ずつ、前へ進んでいってください。

それでもなお、壁を乗り越えれそうにない時は、どうか私たちに訪ねてください。皆さんが帰ってくる場所は、ここに 있습니다。私たちは、いつまでも、皆さんと共にあります。

それでは、卒業生の皆さんが、これからの長い人生を力強く歩まれ、健康で幸せでありますことを、心より念じまして、令和七年度卒業式の式辞とします。

令和八年三月二十三日

兵庫大学・兵庫大学短期大学部  
学長 河野 真